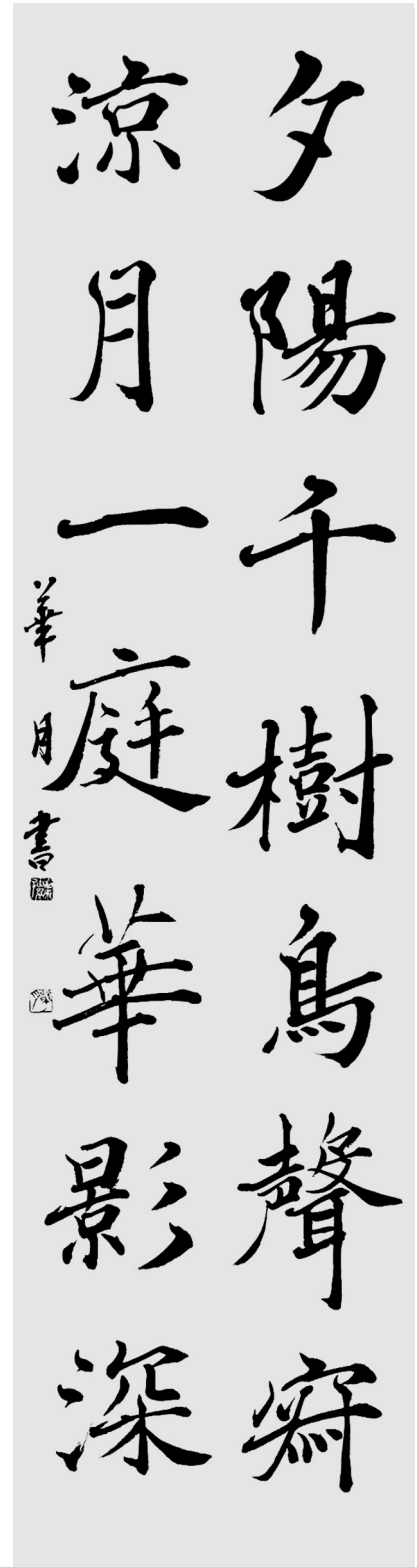
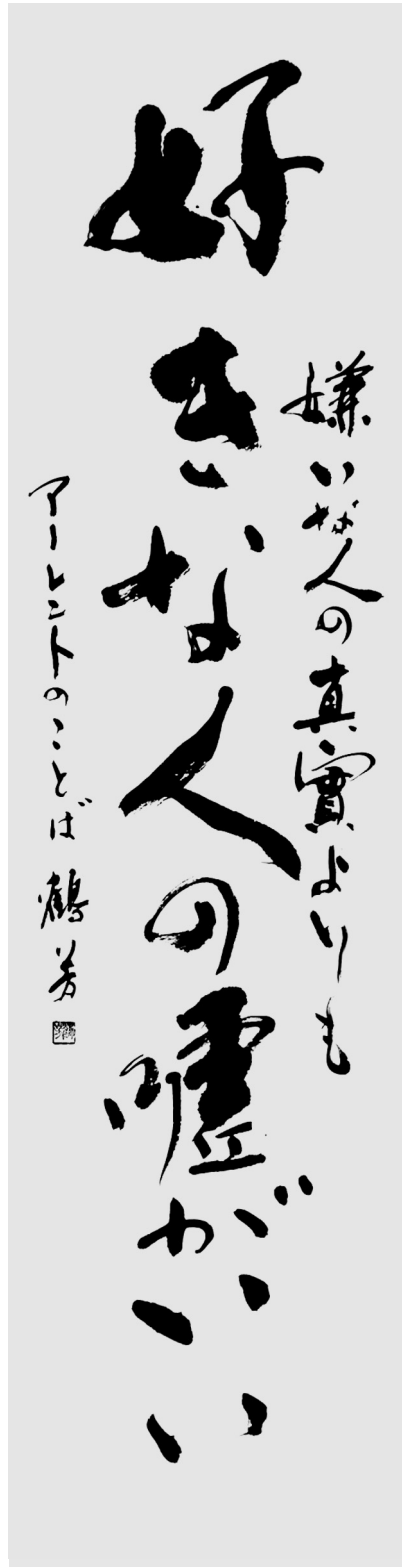




条幅規定

成家 松原 華月

自ら学んだ古典を生かしながらの作品づくりには賛同する。派手さはないがじっくりと安心して観れるところが良い。古典の学習は花が咲く前の土の耕しと同じ、毎月の月例で腕を磨こう。

条幅随意

師範正 秦 鶴芳

詩文の主張を前面に出し、存在感のある作品であるが、大字、小字ともに字間の疎密もほしいところ。「書」は線が命であることを頭に置き、多様な線の研究が今後の課題になろう。

条幅随意(臨書)

成家 深町 鳳月

静謐の中に快いリズムと清冽さがあり、自然な運筆に高い品格と原帖にこだわる気概を感じる。下部がや、左に流れたのはおしいが、成家としての気宇の大きさに魅了される一品である。

半折 1/2 横

師範正 藤 秀月

普通の構成ではあるが、良質な線により、白い空間にピンと張りつめた緊張感が漂い、透明度のある美しい表現である。直線がきいた作で、観ていて気持ちがスツキリする。



半紙規定

師範正 村石 節子

起筆するべく収筆まで気持ちよくゆき届き、線にも迷いなく、白も生きていて流石である。「成家」を目指し、精進を。期待しています。

半紙随意

成家 秋永 春霞

本文・名前までの周りの空間をすべて大切に、あつかい、微妙なる疎密に行のゆらぎなど、気持ち行の細部にまで行き届いている。さすが成家である。

半紙随意(臨書)

成家 堀 夏美

長鋒を駆使しながらも無理なく運ばれていく筆が、美しい線を奏でていて快い。臨書は形臨を主とし、もう少し細部にまで注意をはらい精進を。





学生部条幅 (1/4)

小六 五段 西井 千夏

力のこもった強い線で元氣よく書いています。『継続は力なり』ですね。さらに上の段を目指してがんばって下さい。期待大！

矢野 心晴

小一 準五級 ふじさんのようにどうどうとした「やま」がかけてましたね。おしゅうじのたのしさがつたわってくりりっぱなさくひんです。

原田 侑奈

小林 由奈

小二 4級 お手本をよくかきさつして、形よくていねいに書いた明るいさくひんです。このちようしで今年もたくさん練習しましょうね。

自見 祐花

後藤 彩香

小四 準四段 漢字と平仮名のバランスの良い明るい作品です。名前もしつかりと練習ができています。今後、さらに期待しています。

武田 千洸

野見山 栞

小六 準五段 伸びのある線で明るくすっきりと書いています。今後は終筆の押さえすぎに気をつけて書くことさらに良くなりそうです。頑張ってください。

中島菜々美

小三 準2級 紙いっぱいになんか美さんの元氣があふれた作品です。これから「ハネ」ハライの筆づかいに気をつけることさらに良くなります。

高木琴々音

小五 五段 とても難しい課題でしたが、漢字と平仮名のバランスの良い大人顔負けの作品です。さすが上位有段者ですね。名前も見事です。

荒巻 結菜

中二・三特待生 難しい課題でしたが、漢字と平仮名のバランスの良い、まとまりのある作品です。あなたも、一般部への挑戦をおすすめします。

(坂元紫香先生評)

そのころ、人々はポリネシアから運んできたバナナやタロイモを栽培し、豊かな海の資源を採って生活していた。そして、十一世紀ごろ突然巨大なモアイの製造が始まる。

歳末の混雑の中、高速道路の車が、歩
くようにゆっくりと動くのが見える。
街角には無数の豆電球が瞬き、どこ
からともなくクリスマスの歌が流れ
てくる。いつもながらの季節の光景だ。

役 職
氏 名
大 平 松 貞 久

冬の星座の裏へいふとんす。
 の度には、信構な物品をお送り下さる一々
 誠にありと云ふがままに、お礼持て、每人で
 頂戴いたさうとした、きつてえ、さうも家族中
 でお世話になさうありますので、遍分にお礼達
 下さるうちに、
 時計節桶、お風船やを披露したならぬ、よう
 じ自愛下さ、と云ふ急ぎ、お礼とお礼、まづ
 ほうと云ふます。
 流陽

槌口 凌陽 一般 師範正
音楽が聞こえてくるような自然な流れと抑揚の変化が見事です。今後は画数の多い漢字の大きさに気をつけて書かれることをお勧めします。